

85 「予防・予察」に重点を置いた総合防除の推進

令和9年度予算概算要求額 7,582百万円（前年度 1,974百万円）の内数

＜対策のポイント＞

効果的な病虫害防除による生産力の向上と環境負荷の低減を通じた農業生産の持続性の確保の両立に資する、化学農薬のみに依存しない「予防・予察」に重点を置いた総合防除を推進していくための取組を支援します。

＜事業目標＞

- 農業者の総合防除の実践と浸透を図る総合防除実践指標を470件策定〔令和12年まで〕（食料・農業・農村基本計画のKPI）
- 化学農薬の使用量（リスク換算）の50%低減〔令和32年まで〕（みどりの食料システム戦略のKPI）

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 食料安定生産に資する新たな病虫害危機管理対策・体制の構築事業

114百万円（前年度 78百万円）の内数

- ① 精緻かつ迅速な発生予察の実現に向け、新たな発生予察の調査手法を確立します。また、より安価に製造可能で環境規制に対応した予察灯の規格を作成します。
- ② 防除の課題を抱える産地と知見を持つ民間事業者・専門家等をマッチングするための「プラットフォーム」を通じた総合防除推進に向けた体制づくり等を実施します。

2. 消費・安全対策交付金のうち病虫害の防除の推進

5,665百万円（前年度 1,896百万円）の内数

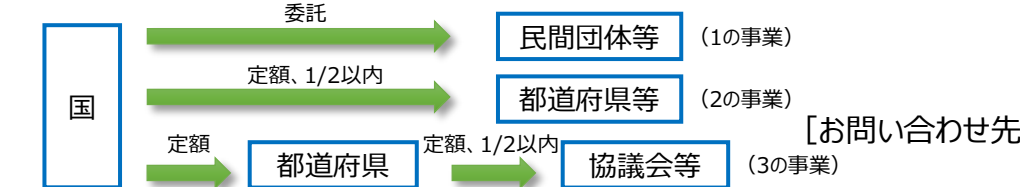
- ① 総合防除実践指標の作成、これらに必要な地域の総合防除体系を確立するための実証などの総合防除の実践に向けた取組を支援します。
- ② 従来の防除対策では防除が困難化した作物に係る新たな防除技術の実証等、地域一体となった広域型総合防除体制のモデル的な構築を支援します。

3. みどりの加速化支援交付金のうちグリーンな生産体系加速化事業

1,803百万円（前年度 -）の内数

気候変動適応技術や環境にやさしい生産技術と省力化に資する技術を取り入れるなど、グリーンな生産体系への転換を加速化するため、農産・畜産の各産地に適した技術の検証及び定着に向けた取組を支援します。

＜事業の流れ＞



食料安定生産に資する新たな病虫害危機管理対策・体制の構築事業

新たな発生予察調査手法の確立

新規予察灯規格の設計

総合防除の現場への浸透加速化

病虫害の防除の推進

総合防除の実践

防除が困難化した作物に係る防除体系の確立

グリーンな生産体系加速化事業

（例）土壌くん蒸剤の代替技術の導入

技術の検証

代替技術の導入

土壌くん蒸剤の低減

（1と2の事業） 消費・安全局植物防疫課 (03-3502-3382)

（3の事業） 農産局技術普及課みどりユニット (03-6744-2107)